

エアサス/アクティブサスコンローラー 車種別取付説明書

▲ 取り付け時の注意

- 本体および配線類はハンドル、シフトレバー、ペダル、パーキングブレーキの操作を妨げるような取り付けをしないでください。運転の邪魔になるばかりでなく事故の恐れがあります。
- 本製品は車種別専用ハーネスが設定されている車種専用です。車種別専用ハーネスが設定されていない車種には取り付けできません。また、車種別専用ハーネスが設定されていない車種への取り付けに関するサポートは一切おこなっていません。
- 取り付け前に、必ずエンジンを停止させバッテリーマイナス端子を外してください。
- コネクターを引き抜くときは、コネクターの抜け防止爪をしっかりと押し込み、まっすぐ引き抜いてください。コネクターを無理に引っ張りますと、コンピュータが破損する恐れがあります。
- 配線部分を引っ張ることは絶対にしないでください。断線、接触不良を引き起こす恐れがあります。
- コネクターを接続するときは、カチッと音がするまで奥まで確実に差し込んでください。
- 本製品を取り付ける際は、ハーネス、本体、配線等がシートレールやペダル等に噛み込まれたり、挟まれる可能性のある場所には絶対に設置しないでください。製品破損やハーネス断線等の恐れがあります。
- 本体を直射日光の当たる場所やエアコン吹き出し口付近の温度が極端に変化する場所、熱のこもる場所には取り付けしないでください。変色、変形、故障の恐れがあります。

■ 取付手順 (はじめにお読み下さい)

- ① エンジン停止後(イグニッションキー OFF後) 3分(車種によっては6分)以上経過してから、エンジンルーム内のバッテリーマイナス端子を外します。
- ▲ **3分(車種によっては6分)以内に外すと、車両側コンピューターが異常を検知する場合があります**
- ② 車種別の説明を参照の上、エアサス/アクティブサスコンピューターを探します。
- ③ 基本取付図のようにエアサス/アクティブサスコンピューター、車種別専用ハーネス、車両側ハーネス、コントローラー本体を接続します。
※車種別専用ハーネス以外で装着することはできません。
※ASR682本体には緊急時にノーマル車高に戻せるスイッチを装備していますので、なるべく装着後でも操作できる場所に設置してください。
- ④ 装着作業中に取り外した車両側のコネクター類を全て戻してからバッテリーマイナス端子を接続し、車両側イグニッションスイッチをONにして、ASR682本体に電源が入ることを確認してください。
※正常に装着されていれば、本体の表示部に「—」などの表示を行います。
※ ASR682本体に電源が入ることを確認したらイグニッションスイッチをOFFにしてください。

※正常にコントローラーが動作しない、車両のインジケータ(警告灯)が点滅するなどの症状が発生した場合は、再度、接続箇所:コントローラーの車種設定を確認します。インジケータが点滅している場合、バッテリーマイナス端子を5分以上外して記憶を消去してください。

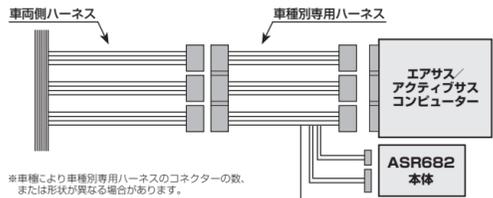
Data System 株式会社 データシステム

■[本社] 東京都新宿区新宿1-18-2 TEL.03-5369-4137(代) ■[倉敷支社] 岡山県倉敷市神田1-1-11 TEL.086-445-1617(代)
自動音声案内に従って下記の#(シャープ)と番号を押してください。
#1 適合確認 #2 サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付) #3 在庫確認・ご注文(※コレクトコールによるお問い合わせは受付致しかねますので予めご了承ください)
弊社に無断で本説明書の内容・図・写真の全部、または一部の複製(コピー)・転用・転載を禁じます。

ASR682-1409-AKN

■ 基本取付図

※車種ごとに表記がある場合はそちらを参照してください。



▲ 重要 パワーウィンドウやサンルーフのオート機能が作動しない場合の設定方法

トヨタ車(レクサスを含む)で作業後に上記のオート機能が作動しない場合は、下記の操作で再設定してください。
作業は全てのドアに付いているパワーウィンドウスイッチ(オート機能があるスイッチのみ)に対して行ってください。

- ① エンジンを始動する。
- ② パワーウィンドウ(サンルーフ)スイッチをUP側に操作(マニュアル位置またはオート位置を保持)してドアガラスを全開にする。
- ③ パワーウィンドウ(サンルーフ)スイッチをDOWN側に操作(マニュアル位置またはオート位置を保持)してドアガラスを全開にする。
- ④ パワーウィンドウ(サンルーフ)スイッチをUP側に操作(オート位置を保持)してドアガラスが全閉停止後、更に1秒以上スイッチを保持する。

※保持したスイッチを離れたときにドアガラスが下がる場合、再度スイッチをUP側に操作(オート位置を保持)してドアガラスが全閉停止後、更に1秒以上スイッチを保持する。

レクサスLS460・460L/LS600h・600hL

USF40・45(H18.9~H21.10) / USF41・46(H20.9~H21.10)
UVF45・46(H19.5~H21.10)

▲ 重要 取付の前に

製品の取り付け、取り外し作業の前に、G-セキュリティの設定をしている場合は解除を行ってください。解除方法については車両説明書またはレクサス販売店にて確認の上行ってください。またHDDナビゲーションはIG OFF後、約6分間でメモリー記憶する為、IG OFF後、6分以上経過してからバッテリーマイナス端子を外してください。バッテリーを取り外すと「給油後平均燃費」「給油後走行時間」「走行時間」「平均車速」の情報がリセットされ、「O」にもどります。もとの数値は復元できません。

▲ 重要 バッテリーを外した際の各機能の再設定(作業終了後、必ず行ってください)

ステアリングセンサーの点検⇒エンジンを始動し45km/h以上の速度で8秒間以上直進する。バックガイドモニターシステムの初期化⇒平坦路でステアリングホイールを左右いっぱい切る。インテリジェントパーキングアシストシステムの初期化⇒平坦路でステアリングホイールを左右いっぱい切る。
電動リアドアアシストシステムの初期化⇒IG ONにし、サンシェードのフロントあるいはリアのスイッチを2回押す。
パワートランクリッドの初期化⇒手動でトランクを全開にする。

▲ 重要 パワーウィンドウやサンルーフのオート機能が作動しない場合の設定方法

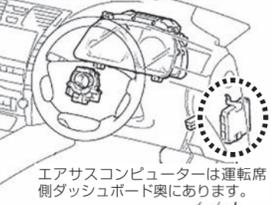
作業後に上記のオート機能が作動しない場合は、下記の操作で再設定してください。
作業は全てのドアに付いているパワーウィンドウスイッチ(オート機能があるスイッチのみ)に対して行ってください。

- ① エンジンを始動する。
- ② パワーウィンドウ(サンルーフ)スイッチをUP側に操作(マニュアル位置またはオート位置を保持)してドアガラスを全開にする。
- ③ パワーウィンドウ(サンルーフ)スイッチをDOWN側に操作(マニュアル位置またはオート位置を保持)してドアガラスを全開にする。
- ④ パワーウィンドウ(サンルーフ)スイッチをUP側に操作(オート位置を保持)してドアガラスが全閉停止後、更に1秒以上スイッチを保持する。

※保持したスイッチを離れたときにドアガラスが下がる場合、再度スイッチをUP側に操作(オート位置を保持)してドアガラスが全閉停止後、更に1秒以上スイッチを保持する。

エアサスコンピューターへの接続

エアサスコンピューター位置

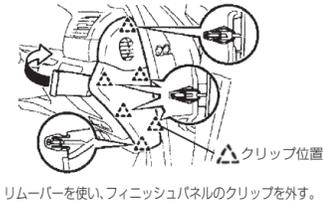


1 バッテリーマイナス端子取り外し

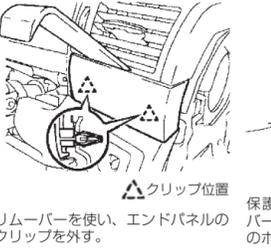
▲ **重要 バッテリーマイナス端子取り外し**
エンジン停止後(IGキー OFF後)6分以上経過してから、LS460(L)はエンジンルーム内のバッテリーマイナス端子を、LS600h(L)はトランク内の補機バッテリーのマイナス端子を外します。



2 運転席側フィニッシュパネル取り外し



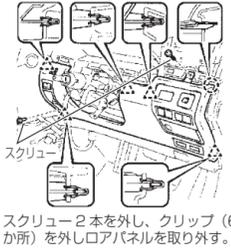
3 エンドパネル取り外し



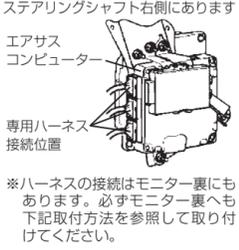
4 ホールカバー取り外し



5 ロアパネル取り外し



6 エアサスコンピューター

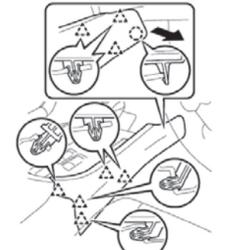


モニターへの接続

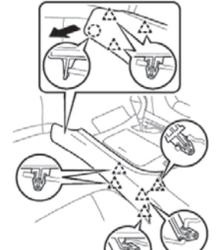
▲ 重要

本車仕様の車両は、革に傷が付く恐れがあります。ユニット脱着時にドライバーなどでこじらないように十分注意してください。

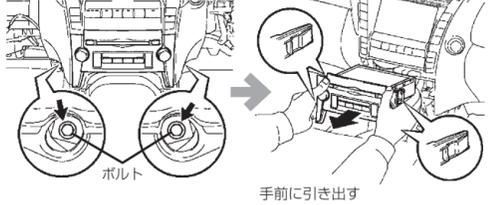
1 パネルエンドR取り外し



2 パネルエンドL取り外し



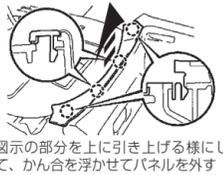
7 ラジオレシーバー取り外し



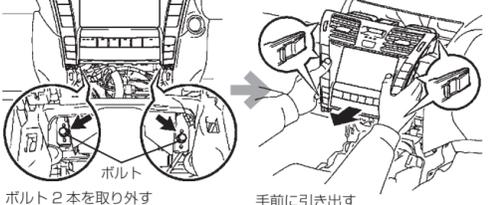
3 シフトノブ取り外し



4 コンソールボックスパネル取り外し



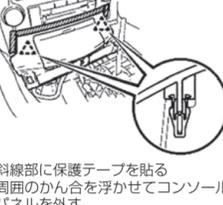
8 モニター ASSY 取り外し



5 コンソールアッパーパネル取り外し



6 コンソールパネル取り外し



9 モニター裏側



マジェスタ・マジェスタ4WD

URS206・UZS207(H21.3~H25.8)

▲ 重要 取付の前に

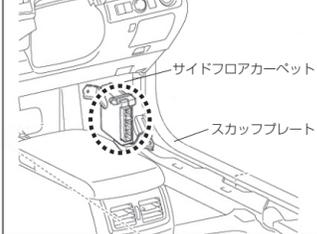
製品の取り付け、取り外し作業の前に、G-セキュリティの設定をしている場合は解除を行ってください。方法については車両説明書または車両販売店にて確認の上、行ってください。またHDDナビゲーションはIG OFF後、約6分間でメモリー記憶する為、IG OFF後、6分以上経過してからバッテリーマイナス端子を外してください。

▲ 重要 以下に示す項目はバッテリー(-)端子を外す事により設定値が消去する項目です。バッテリー(-)端子接続後は、下記の初期化操作を行ってください。

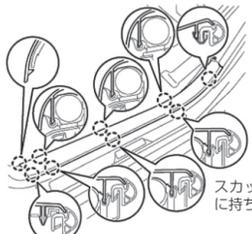
ステアリングセンサー ゼロ点取得	1. エンジンを始動する。 2. ゆっくり左右1回転のステアリング操作を3回行う。 3. メーター車速35km/h以上で5秒以上直進走行する。
ステアリングセンサー初期化	エンジンを始動し平坦路にて、左右両側にステアリングをいっぱい切る。
舵角初期化	エンジンを始動し、バックソナーとクリアランスソナースイッチをONにし、平坦路でステアリングを左右いっぱい切る。
パワートランクリッド初期化	トランクを一度手動で開める。(トランクを開けたままバッテリーを外した場合は不要です)

エアサスコンピューターへの接続

エアサスコンピューター位置



1 スカッフプレート取り外し



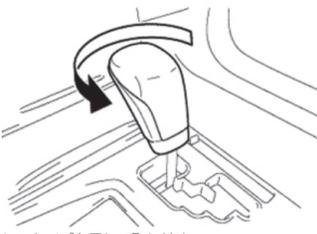
2 サイドフロアカーペットをめくる

3 車種別専用ハーネス(単独コネクター以外)を接続する

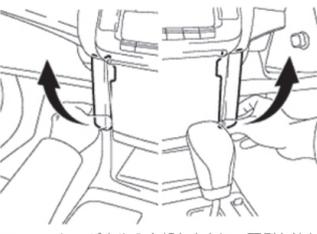


AVユニット(単独コネクター)への接続

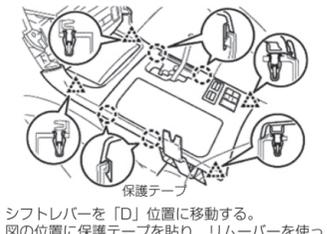
1 シフトノブ取り外し



2 フィニッシュパネル(左右)取り外し



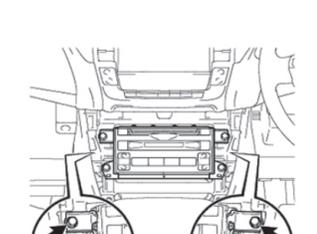
3 コンソールパネル取り外し



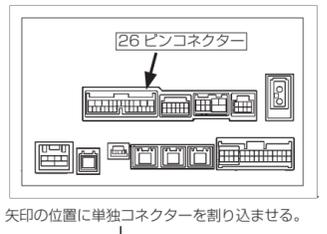
4 クラスタパネル取り外し



5 スイッチパネル取り外し



6 AVユニット裏側



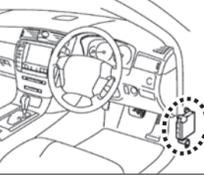
マジェスタ・マジェスタ4WD

UZS186・187(H16.7~H21.3)

エンジン停止後(IGキー OFF後) 3分以上経過してから、エンジンルーム内のバッテリーマイナス端子を外します。

▲ 3分以内に外すと、車両側コンピューターが異常を検知する場合があります

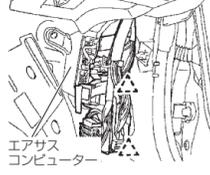
エアサスコンピューター位置



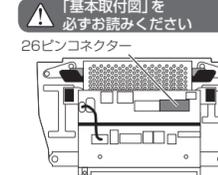
1 運転席側スカッフプレート取り外し



2 エアサスコンピューター位置確認



26ピンコネクター接続位置



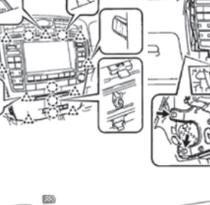
3 モニター取り外し(26ピンコネクター接続)



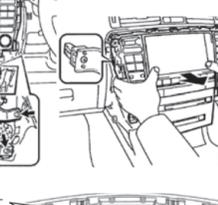
4 クリップ位置



5 ツメ位置



6 ボルト6本取り外し



▲ モニター裏 注意 ハーネス取り回し時の注意

モニター裏に配置されている各サーボモーターやセンターレジスタのシンクロードなどにハーネスが干渉しないよう、取り回しには十分ご注意ください。これらに干渉するとエアサスシステムの故障や破損の原因となり、エアサス機能が正常に動作しなくなります。



レクサスLS460・460L/LS600h・600hL

USF40・41・45・46 (H21.11～H24.9)
UVF45・46 (H21.11～H24.9)

重要 取付の前に

製品の取り付け、取り外し作業の前に、G-セキュリティの設定をしている場合は解除を行ってください。方法については車両説明書または車両販売店に確認の上、行ってください。またHDDナビゲーションはIG OFF後、約6分間メモリー記憶する為、IG OFF後、6分以上経過してからバッテリーマイナス端子を外してください。

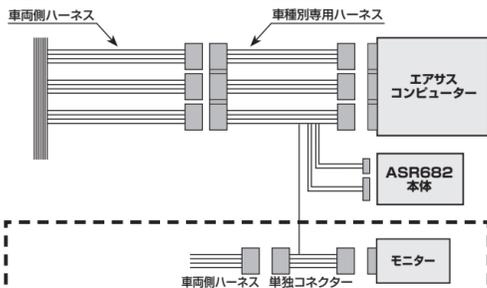
重要 バッテリーを外した際の各機能の再設定 (作業終了後、必ず行ってください)

ステアリングセンサーの点検取得=エンジンを始動し45km/h以上の速度で8秒間以上直進する。
バックガイドモニターシステムの初期化=平坦路でステアリングホイールを左右に10度ずつに切る。
インテリジェントパーキングアシストシステムの初期化=平坦路でステアリングホイールを左右に10度ずつに切る。
電動リアドアアシストシステムの初期化=IG ONにし、サンシェードのフロントあるいはリアのスイッチを2回押す。
*パワーランクリッドの初期化=手動でトランクを全閉にする。

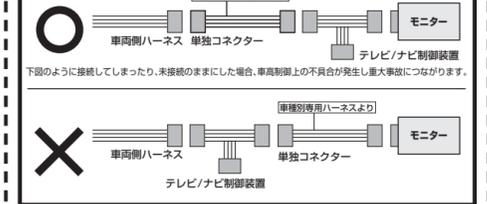
重要 パワーウィンドウやサンルーフのオート機能が作動しない場合の設定方法

作業後に上記のオート機能が作動しない場合は、下記の操作で再設定してください。作業は全てのドアに付いているパワーウィンドウスイッチ(オート機能があるスイッチのみ)に対して行ってください。
①エンジンを始動する。
②パワーウィンドウ(サンルーフ)スイッチをUP側に操作(マニュアル位置またはオート位置を保持)してドアガラスを全開にする。
③パワーウィンドウ(サンルーフ)スイッチをDOWN側に操作(マニュアル位置またはオート位置を保持)してドアガラスを全閉にする。
④パワーウィンドウ(サンルーフ)スイッチをUP側に操作(オート位置を保持)してドアガラスが全閉停止後、更に1秒以上スイッチを保持する。
*保持したスイッチを離したときにドアガラスが下がる場合、再度スイッチをUP側に操作(オート位置を保持)してドアガラスが全閉停止後、更に1秒以上スイッチを保持する。

基本取付図



注意 TV-KITなどのテレビナビ制御装置を装着している場合



レクサスLS460・460L/LS600h・600hL

USF40・41・45・46 (H24.10～)
UVF45・46 (H24.10～)

重要 取付の前に

製品の取り付け、取り外し作業の前に、G-セキュリティの設定をしている場合は解除を行ってください。方法については車両説明書または車両販売店に確認の上、行ってください。またHDDナビゲーションはIG OFF後、約6分間メモリー記憶する為、IG OFF後、6分以上経過してからバッテリーマイナス端子を外してください。

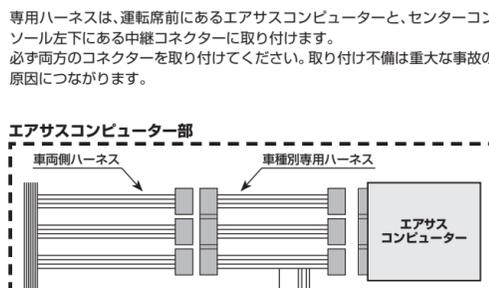
重要 バッテリーを外した際の各機能の再設定 (作業終了後、必ず行ってください)

ステアリングセンサーの点検取得=エンジンを始動し45km/h以上の速度で8秒間以上直進する。
バックガイドモニターシステムの初期化=平坦路でステアリングホイールを左右に10度ずつに切る。
インテリジェントパーキングアシストシステムの初期化=平坦路でステアリングホイールを左右に10度ずつに切る。
電動リアドアアシストシステムの初期化=IG ONにし、サンシェードのフロントあるいはリアのスイッチを2回押す。
*パワーランクリッドの初期化=手動でトランクを全閉にする。

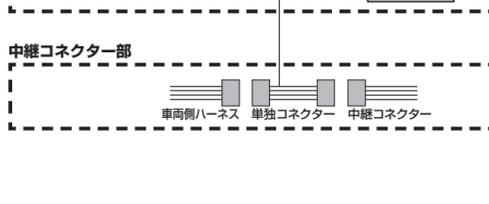
重要 パワーウィンドウやサンルーフのオート機能が作動しない場合の設定方法

作業後に上記のオート機能が作動しない場合は、下記の操作で再設定してください。作業は全てのドアに付いているパワーウィンドウスイッチ(オート機能があるスイッチのみ)に対して行ってください。
①エンジンを始動する。
②パワーウィンドウ(サンルーフ)スイッチをUP側に操作(マニュアル位置またはオート位置を保持)してドアガラスを全開にする。
③パワーウィンドウ(サンルーフ)スイッチをDOWN側に操作(マニュアル位置またはオート位置を保持)してドアガラスを全閉にする。
④パワーウィンドウ(サンルーフ)スイッチをUP側に操作(オート位置を保持)してドアガラスが全閉停止後、更に1秒以上スイッチを保持する。
*保持したスイッチを離したときにドアガラスが下がる場合、再度スイッチをUP側に操作(オート位置を保持)してドアガラスが全閉停止後、更に1秒以上スイッチを保持する。

基本取付図



注意 TV-KITなどのテレビナビ制御装置を装着している場合



エアサスコンピューターへの接続

エアサスコンピューター位置

エアサスコンピューターは運転席側ダッシュボード奥にあります。

① バッテリーマイナス端子取り外し

重要 バッテリーマイナス取り外し
エンジン停止後(IGキー OFF後)6分以上経過してから、LS460(L)はエンジンルーム内のバッテリーマイナス端子を、LS600h(L)はトランク内の補機バッテリーのマイナス端子を外します。

③ エンドパネル取り外し

リムーバーを使い、エンドパネルのクリップを外す。

④ ホールカバー取り外し

リムーバーを使い、ホールカバーを取り外す。

⑤ ロアパネル取り外し

スクルー2本を外し、クリップ(6か所)を外しロアパネルを取り外す。

⑥ エアサスコンピューター

ステアリングシャフト右側にあります
エアサスコンピューター
専用ハーネス接続位置

*ハーネスの接続はモニター裏にもあります。必ずモニター裏へも下記取付方法を参照して取り付けてください。

エアサスコンピューターへの接続

エアサスコンピューター位置

エアサスコンピューターは運転席側ダッシュボード奥にあります。

① バッテリーマイナス端子取り外し

重要 バッテリーマイナス取り外し
エンジン停止後(IGキー OFF後)6分以上経過してから、LS460(L)はエンジンルーム内のバッテリーマイナス端子を、LS600h(L)はトランク内の補機バッテリーのマイナス端子を外します。

③ エンドパネル取り外し

リムーバーを使い、エンドパネルのクリップを外す。

④ ホールカバー取り外し

リムーバーを使い、ホールカバーを取り外す。

⑤ ロアパネル取り外し

スクルー2本を外し、クリップ(6か所)を外しロアパネルを取り外す。

⑥ エアサスコンピューター

ステアリングシャフト右側にあります
エアサスコンピューター
専用ハーネス接続位置

*ハーネスの接続は中継コネクタ部にもあります。必ず中継コネクタ部へも下記取付方法を参照して取り付けてください。

モニターへの接続

重要 本車仕様の車両は、革に傷が付き易くなっています。ユニット脱着時にドライバーなどでこじらないように十分注意してください。

① パネルエンドR取り外し

前方付近を外側に引いてかん合を外す

② パネルエンドL取り外し

前方付近を外側に引いてかん合を外す

⑤ ラジオリシーバー取り外し

ボルト2本を取り外す
手前に引き出す

③ シフトレバーノブ取り外し

矢印の方向に回してシフトノブを外す

④ コンソールボックスパネル取り外し

図示の部分を上へ引き上げる様にして、かん合を浮かせてパネルを外す

⑥ モニター ASSY 取り外し

ボルト2本を取り外す
モニター ASSY 下部を手前に引く

⑦ コンソールパネル取り外し

斜線部に保護テープを貼る。周囲のかん合を浮かせてコンソールアッパーパネルを外す

⑧ モニター裏側

矢印の位置に本製品の単独コネクタを割り込ませる

⑨ コンソールパネルアッパー取り外し

クリップを浮かせ、コンソールパネルアッパーを取り外す

⑩ 専用ハーネス取り付け 2

センターコンソール左下にあるコネクタ(白)に単独コネクタ(22ピン)を割り込ませる

中継コネクタへの接続

重要 本車仕様の車両は、革に傷が付き易くなっています。ユニット脱着時にドライバーなどでこじらないように十分注意してください。

① パネルエンドR取り外し

前方付近を外側に引いてかん合を外す

② パネルエンドL取り外し

前方付近を外側に引いてかん合を外す

⑤ ラジオリシーバー取り外し

ボルト2本を取り外す
手前に引き出す

③ シフトレバーノブ取り外し

矢印の方向に回してシフトノブを外す

④ コンソールボックスパネル取り外し

図示の部分を上へ引き上げる様にして、かん合を浮かせてパネルを外す

⑥ モニター ASSY 取り外し

ボルト2本を取り外す
モニター ASSY 下部を手前に引く

⑦ コンソールパネル取り外し

斜線部に保護テープを貼る。周囲のかん合を浮かせてコンソールアッパーパネルを外す

⑧ モニター裏側

矢印の位置に本製品の単独コネクタを割り込ませる

⑨ コンソールパネルアッパー取り外し

クリップを浮かせ、コンソールパネルアッパーを取り外す

⑩ 専用ハーネス取り付け 2

センターコンソール左下にあるコネクタ(白)に単独コネクタ(22ピン)を割り込ませる

マジェスタ

UZS151 (H7.9～H11.9)

エンジン停止後(IGキー OFF後)3分以上経過してから、エンジンルーム内のバッテリーマイナス端子を外します。

3分以内に外すと、車両側コンピューターが異常を検知する場合があります

エアサスコンピューター位置

① センターパネル取り外し

センターパネル
クリップ

② コンソールアッパーパネル取り外し

コンソールアッパーパネル
クリップ

キズ防止のため、保護テープを巻いたマイナスドライバーなどを使用してください。

マジェスタ・マジェスタ4WD

UZS171・173 (H11.10～H16.6)

エンジン停止後(IGキー OFF後)3分以上経過してから、エンジンルーム内のバッテリーマイナス端子を外します。

3分以内に外すと、車両側コンピューターが異常を検知する場合があります

エアサスコンピューター位置

① アウターミラースイッチASSY取り外し

クリップ
ツメ

④ エアサスコンピューター位置

エアサスコンピューター

② インストルメントパネルアンダーカバー取り外し

ブラケット
スクルー
クリップ
ツメ
スクルー

③ インストルメントパネル取り外し

セルシオ

UCF21 (H6.10～H12.8)

エンジン停止後(IGキー OFF後)3分以上経過してから、エンジンルーム内のバッテリーマイナス端子を外します。

3分以内に外すと、車両側コンピューターが異常を検知する場合があります

エアサスコンピューター位置

① アンダーカバー取り外し

アンダーカバー

② グローブボックス取り外し

ネジ×3
ナット×2
プラスチック
グローブボックス

③ エアサスコンピューター位置

注意 グローブボックス下部裏側の黄色のコネクタはエアバッグ回路です。絶対に引き抜かないでください。

セルシオ

UCF31 (H12.9～H18.9)

エンジン停止後(IGキー OFF後)3分以上経過してから、エンジンルーム内のバッテリーマイナス端子を外します。

3分以内に外すと、車両側コンピューターが異常を検知する場合があります

エアサスコンピューター位置

① インストルメントパネル位置

インストルメントパネルガーニッシュLH
グローブボックス(上下一体で外れます)
インストルメントパネルアンダーカバー(N02(グローブボックス下カバー))

② インストルメントパネルアンダーカバー-N02取り外し

ツメ位置
クリップ位置

③ インストルメントパネルガーニッシュLH取り外し

エアコン吹出口断面図
保護テープを巻いたマイナスドライバーなどを使用しクリップ位置でクリップのかん合を外す

H15.7以前の車両

④ グローブボックス取り外し

スクルー
ボルト

⑤ エアサスコンピューター位置

エアサスコンピューター(助手席グローブボックス奥)

H15.8以降の車両

④ グローブボックス取り外し

スクルー
ボルト

⑤ エアサスコンピューター/パワーステアリングコンピューター位置

パワーステアリングコンピューター(単独コネクタ接続位置)
エアサスコンピューター(助手席グローブボックス奥)

注意 グローブボックス下部裏側の黄色のコネクタはエアバッグ回路です。絶対に引き抜かないでください。

重要 取付の前に

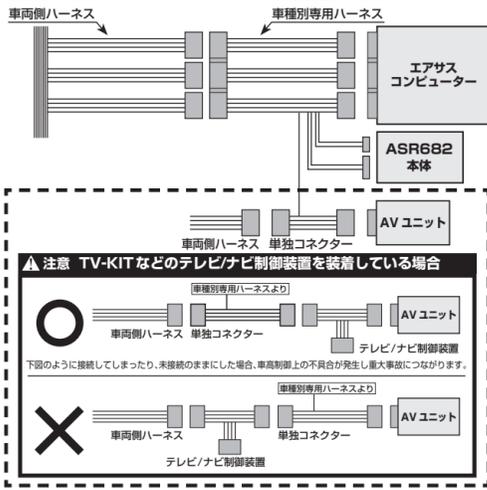
製品の取り付け、取り外し作業の前に、G-セキュリティの設定をしている場合は解除を行って下さい。...

危険 取付時に助手席エアバッグを取り外す作業があります

エアバッグは正しい手順・方法で作業を実施してください。手順・方法を誤ると、作業中にエアバッグが作動し、生命にかかわる重大な事故につながるおそれがあります。...

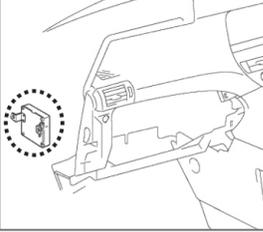
- 次の事項をよく読み、正しい手順で作業をおこなってください。
●バッテリーマイナスターミナルを切り離れたあと、90秒以上経過してから作業を開始してください。
●エアバッグシステム周辺にある、注意事項を記載したラベルの指示に従ってください。
●取り外したエアバッグを絶対に分解しないでください。
●エアバッグを落下させたり、ひび割れ・へこみ・欠け・その他の変形がある場合は、自動車販売店で点検を受けてください。
●高熱や火気に直接さらさないでください。
●エアバッグ本体に、グリース・洗浄剤・オイル・水などを付着させないでください。付着してしまった場合は乾いた布などで速やかに拭き取ってください。
●エアバッグの取り扱いには、高温・多湿を避け、電気ノイズの影響を受けにくい場所でおこなってください。
●エアバッグを取り外した後は、必ず展開面(エアバッグが影らむ面)を上向きにして、エアバッグの上に物を置いたり、エアバッグの重ね置きをしないでください。

基本取付図



車種別専用ハーネス接続手順

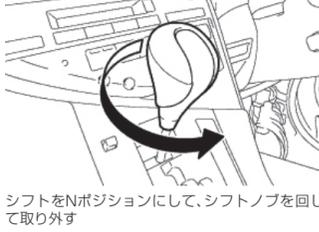
エアサスコンピューター位置



重要 バッテリーマイナス取り外し

エンジン停止後(IGキー OFF後)6分以上経過してから、RX350はエンジンルーム内のバッテリーマイナス端子を、RX450hはラゲッジルーム内の補機バッテリーのマイナス端子を外します。

シフトノブ取り外し



2 コンソールパネル取り外し1



コンソールパネルを上方に引き、ツメとクリップのかん合を外す。シートヒーターなし車はコネクタを切り離す。

3 シートヒータースイッチ取り外し



スイッチのツメ(4本)のかん合を外して、コネクタを切り離しスイッチを取り外す。

4 コンソールパネル取り外し2



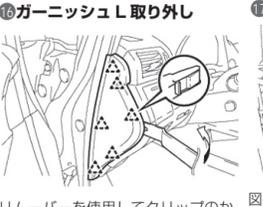
コンソールパネル前方のツメとクリップのかん合を外す。

5 コンソールパネル取り外し3



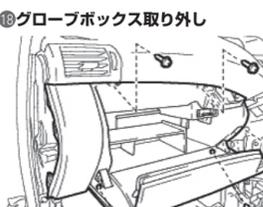
コンソールパネルを後方に引き、パネルを取り外す。

6 ガーニッシュR取り外し



リムーバーを使用してクリップのかん合を外す。

7 サイドパネルR取り外し



ツメとクリップのかん合を外す。

8 AVユニット取り外し



スクリーン2本を取り外す。

9 フィニッシュパネル取り外し



スクリーン2本を取り外す。

10 アンダーカバー取り外し

ツメのかん合とガイドを外し、コネクタを切り離す。

11 アンダーカバー取り外し

ツメのかん合とガイドを外し、コネクタを切り離す。

12 AVユニット裏側

矢印の位置に本製品の単独コネクタを割り込ませる。

13 助手席側スカッフプレート取り外し

ツメとクリップのかん合を外す。

14 サイドトリム取り外し

樹脂ネットを取り外す。クリップのかん合を外す。

15 アンダーカバー取り外し

ツメのかん合とガイドを外し、コネクタを切り離す。

16 ガーニッシュL取り外し

リムーバーを使用してクリップのかん合を外す。

17 エアバッグ ASSY 取り外し

図のように保護テープを貼る。

18 グローブボックス取り外し

スクリーン5本を取り外す。

19 車種別専用ハーネス接続

一番左にあるエアサスコンピューターを固定している手前(車体後側)ボルトを外し、エアサスコンピューター手前を上向きに持ち上げて傾ける。

重要

この作業をおこなわないと、エアサスコンピューター奥側(車体前方側)のコネクタが車体突起に当たってしまい外せません。

重要

この作業をおこなわないと、エアサスコンピューター奥側(車体前方側)のコネクタが車体突起に当たってしまい外せません。

重要

この作業をおこなわないと、エアサスコンピューター奥側(車体前方側)のコネクタが車体突起に当たってしまい外せません。

重要

この作業をおこなわないと、エアサスコンピューター奥側(車体前方側)のコネクタが車体突起に当たってしまい外せません。

重要

この作業をおこなわないと、エアサスコンピューター奥側(車体前方側)のコネクタが車体突起に当たってしまい外せません。

重要

この作業をおこなわないと、エアサスコンピューター奥側(車体前方側)のコネクタが車体突起に当たってしまい外せません。

重要 取付の前に

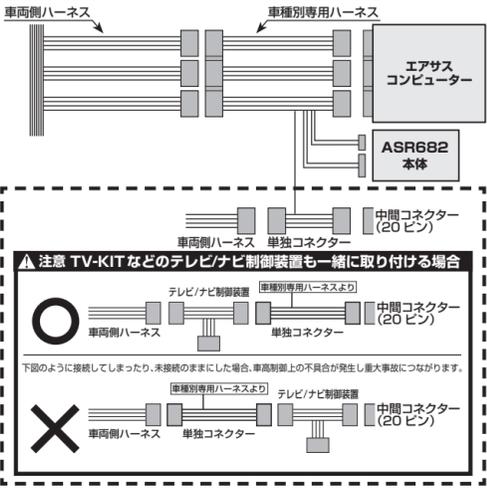
製品の取り付け、取り外し作業の前に、G-セキュリティの設定をしている場合は解除を行って下さい。...

危険 取付時に助手席エアバッグを取り外す作業があります

エアバッグは正しい手順・方法で作業を実施してください。手順・方法を誤ると、作業中にエアバッグが作動し、生命にかかわる重大な事故につながるおそれがあります。...

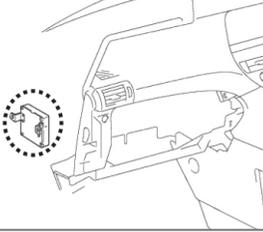
- 次の事項をよく読み、正しい手順で作業をおこなってください。
●バッテリーマイナスターミナルを切り離れたあと、90秒以上経過してから作業を開始してください。
●エアバッグシステム周辺にある、注意事項を記載したラベルの指示に従ってください。
●取り外したエアバッグを絶対に分解しないでください。
●エアバッグを落下させたり、ひび割れ・へこみ・欠け・その他の変形がある場合は、自動車販売店で点検を受けてください。
●高熱や火気に直接さらさないでください。
●エアバッグ本体に、グリース・洗浄剤・オイル・水などを付着させないでください。付着してしまった場合は乾いた布などで速やかに拭き取ってください。
●エアバッグの取り扱いには、高温・多湿を避け、電気ノイズの影響を受けにくい場所でおこなってください。
●エアバッグを取り外した後は、必ず展開面(エアバッグが影らむ面)を上向きにして、エアバッグの上に物を置いたり、エアバッグの重ね置きをしないでください。

基本取付図



車種別専用ハーネス接続手順

エアサスコンピューター位置



重要 バッテリーマイナス取り外し

エンジン停止後(IGキー OFF後)6分以上経過してから、RX350はエンジンルーム内のバッテリーマイナス端子を、RX450hはラゲッジルーム内の補機バッテリーのマイナス端子を外します。

シフトノブ取り外し



3 コンソールパネル取り外し1



コンソールパネルを上方に引き、ツメとクリップのかん合を外す。シートヒーターなし車はコネクタを切り離す。

4 シートヒータースイッチ取り外し



スイッチのツメ(4本)のかん合を外して、コネクタを切り離しスイッチを取り外す。

5 コンソールパネル取り外し2



コンソールパネル前方のツメとクリップのかん合を外す。

6 コンソールパネル取り外し3



コンソールパネルを後方に引き、パネルを取り外す。

7 サイドパネルL取り外し



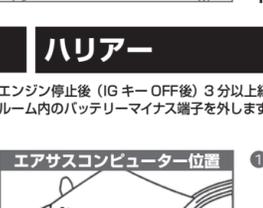
矢印の方向に引いてクリップのかん合を外してサイドパネルLを外す。

8 助手席側スカッフプレート取り外し



ツメとクリップのかん合を外す。

9 アンダーカバー取り外し



ツメのかん合とガイドを外し、コネクタを切り離す。

10 アンダーカバー取り外し



ツメのかん合とガイドを外し、コネクタを切り離す。

11 ガーニッシュL取り外し

リムーバーを使用してクリップのかん合を外す。

12 AVユニット裏側

矢印の位置に本製品の単独コネクタを割り込ませる。

13 助手席側スカッフプレート取り外し

ツメとクリップのかん合を外す。

14 サイドトリム取り外し

樹脂ネットを取り外す。クリップのかん合を外す。

15 アンダーカバー取り外し

ツメのかん合とガイドを外し、コネクタを切り離す。

16 ガーニッシュR取り外し

リムーバーを使用してクリップのかん合を外す。

17 エアバッグ ASSY 取り外し

図のように保護テープを貼る。

18 グローブボックス取り外し

スクリーン5本を取り外す。

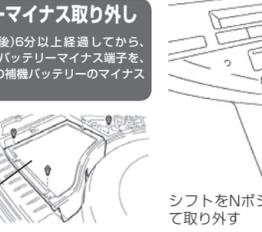
19 車種別専用ハーネス接続

一番左にあるエアサスコンピューターを固定している手前(車体後側)ボルトを外し、エアサスコンピューター手前を上向きに持ち上げて傾ける。

重要

この作業をおこなわないと、エアサスコンピューター奥側(車体前方側)のコネクタが車体突起に当たってしまい外せません。

エアサスコンピューター位置



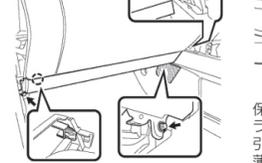
重要 バッテリーマイナス取り外し

エンジン停止後(IGキー OFF後)6分以上経過してから、RX350はエンジンルーム内のバッテリーマイナス端子を、RX450hはラゲッジルーム内の補機バッテリーのマイナス端子を外します。

1 エアバッグ ASSY 取り外し

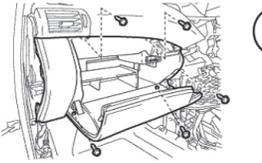


図のように保護テープを貼る。



保護テープを巻いた薄刃マイナスドライバーで、コネクタのロックを引き出して解除する。薄刃マイナスドライバーでコネクタを切り離す。

2 グローブボックス取り外し



スクリーン5本を取り外す。ツメ及びクリップのかん合とガイドを外す。各コネクタを切り離す。

3 単独コネクタ(20ピン)接続

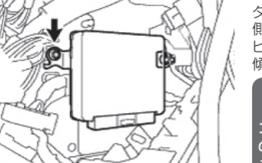


図の丸印部分、エアバッグを止めているボルトの奥付近にコネクタがあります。



パイプフレーム エアバッグを止めているボルト 20ピンコネクタ(灰色) 20ピンコネクタ(灰色)に本製品を割り込ませる。

4 車種別専用ハーネス接続



一番左にあるエアサスコンピューターを固定している手前(車体後側)ボルトを外し、エアサスコンピューター手前を上向きに持ち上げて傾ける。

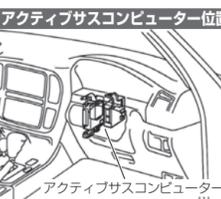
重要

この作業をおこなわないと、エアサスコンピューター奥側(車体前方側)のコネクタが車体突起に当たってしまい外せません。

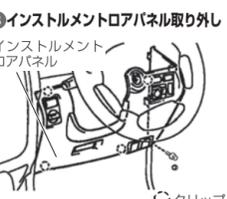
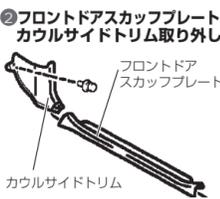
ランドクルーザー 100 / ランドクルーザーシグナス

エンジン停止後(IGキー OFF後)3分以上経過してから、エンジンルーム内のバッテリーマイナス端子を外します。

3分以内に外すと、車両側コンピューターが異常を検知する場合があります



1 インstrumentクラスターフィニッシュパネル取り外し



ハリヤー

エンジン停止後(IGキー OFF後)3分以上経過してから、エンジンルーム内のバッテリーマイナス端子を外します。

3分以内に外すと、車両側コンピューターが異常を検知する場合があります



1 運転席側スカッフプレート取り外し



重要

この作業をおこなわないと、エアサスコンピューター奥側(車体前方側)のコネクタが車体突起に当たってしまい外せません。

重要

この作業をおこなわないと、エアサスコンピューター奥側(車体前方側)のコネクタが車体突起に当たってしまい外せません。

重要

この作業をおこなわないと、エアサスコンピューター奥側(車体前方側)のコネクタが車体突起に当たってしまい外せません。

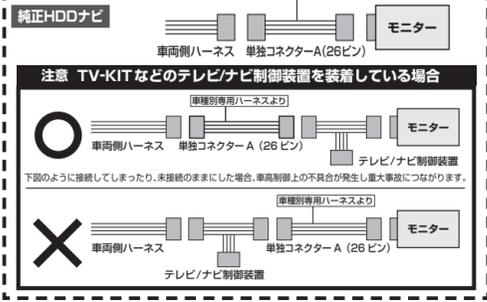
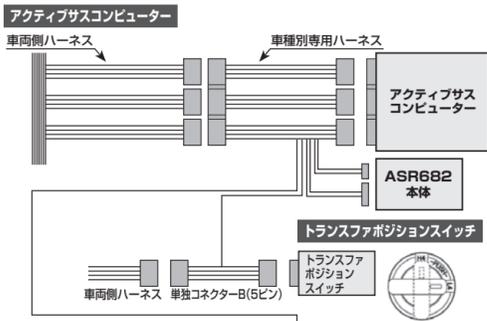
重要

この作業をおこなわないと、エアサスコンピューター奥側(車体前方側)のコネクタが車体突起に当たってしまい外せません。

重要 取付の前に

製品の取り付け、取り外し作業の前に、G-セキュリティの設定をしている場合は解除を行ってください。方法については車両説明書または車両販売店に確認の上、行ってください。またHDDナビゲーションはIG OFF後、約6分間でメモリー記憶する為、IG OFF後、6分以上経過してからバッテリーマイナス端子を外してください。

基本取付図



重要 取付の前に

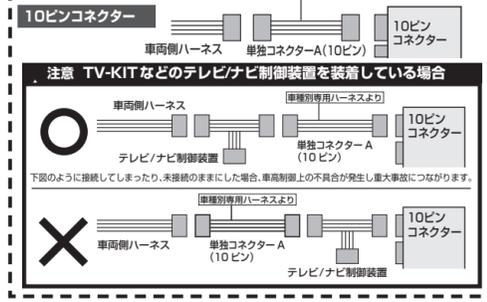
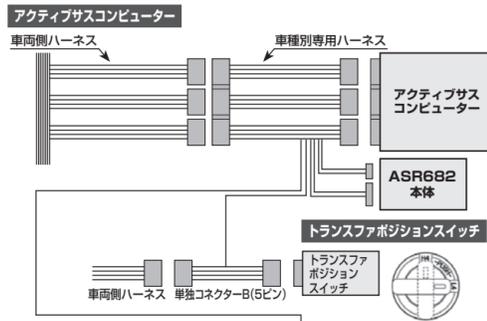
製品の取り付け、取り外し作業の前に、G-セキュリティの設定をしている場合は解除を行ってください。方法については車両説明書または車両販売店に確認の上、行ってください。またHDDナビゲーションはIG OFF後、約6分間でメモリー記憶する為、IG OFF後、6分以上経過してからバッテリーマイナス端子を外してください。

危険 取付時に助手席エアバッグを取り外す作業があります

エアバッグは正しい手順・方法で作業を実施してください。手順・方法を誤ると、作業中にエアバッグが作動し、生命にかかわる重大な事故につながるおそれがあります。また、取付方法を誤るとエアバッグが作動しなくなるおそれがあります。

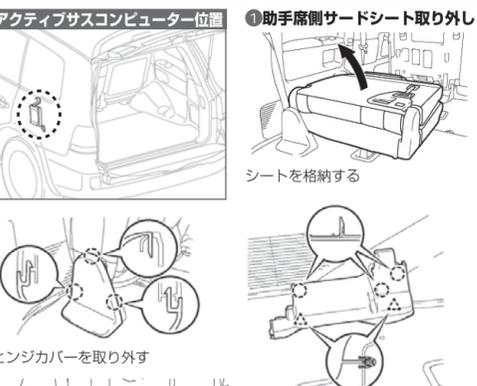
- 次の事項をよく読み、正しい手順で作業をおこなってください。
●バッテリーマイナス端子を切り離したあと、90秒以上経過してから作業を開始してください。
●エアバッグシステム周辺にある、注意事項を記載したラベルの指示に従ってください。
●取り外したエアバッグを絶対に分解しないでください。
●エアバッグを落下させたり、ひび割れ・へこみ・欠け・その他の変形がある場合は、自動車販売店で点検を受けてください。
●高熱や火気に直接さらさないでください。
●エアバッグ本体に、グリス・洗浄剤・オイル・水などを付着させないでください。付着してしまった場合は乾いた布などで速やかに拭き取ってください。
●エアバッグの取り扱いは、高温・多湿を避け、電気ノイズの影響を受けにくい場所でおこなってください。
●エアバッグを取り外した後は、必ず展開面(エアバッグが影らむ面)を上向きにして、エアバッグの上に物を置いたり、エアバッグの重ね置きをしないでください。

基本取付図

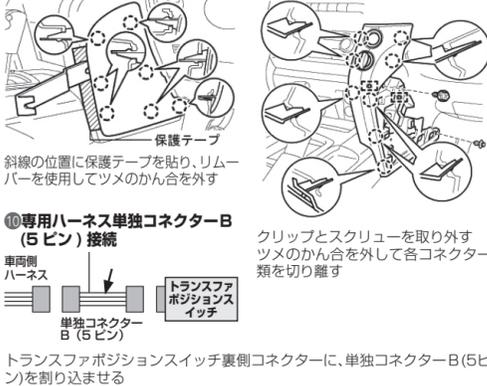


車種別専用ハーネス接続手順

アクティブサスコンピューターへの接続

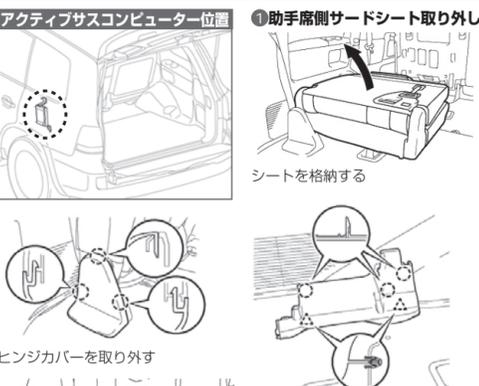


⑥パネルクッションR取り外し ⑦パネルパッドR取り外し

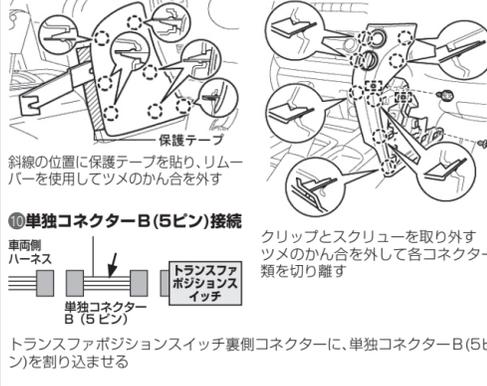


車種別専用ハーネス接続手順

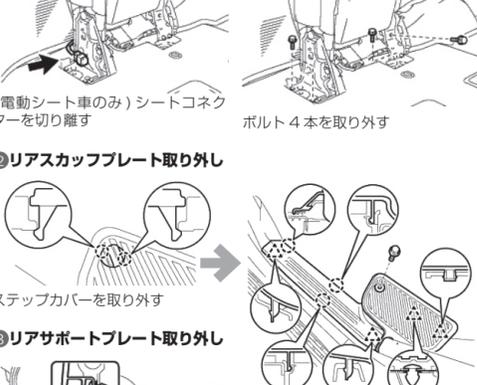
アクティブサスコンピューターへの接続



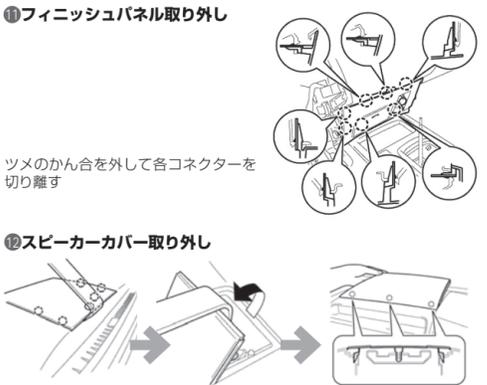
⑥パネルクッションR取り外し ⑦パネルパッドR取り外し



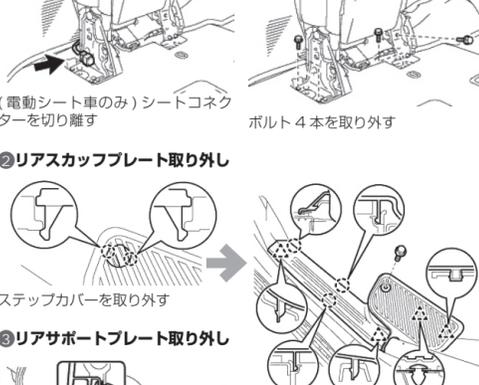
モニターへの接続



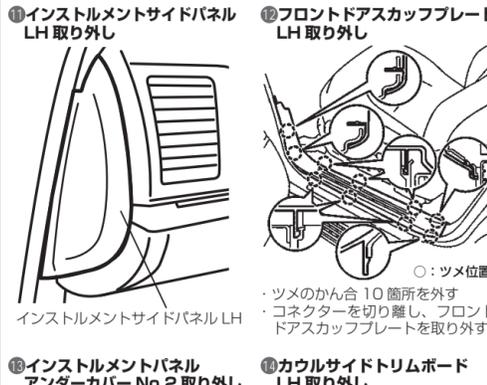
⑧専用ハーネス単独コネクタ-B(5ピン)接続



モニターへの接続



⑧専用ハーネス単独コネクタ-B(5ピン)接続



⑨リアスクラッププレート取り外し



⑨モニター ASSY 取り外し



⑨リアスクラッププレート取り外し



⑨モニター ASSY 取り外し



⑩エアコン吹き出し口L取り外し



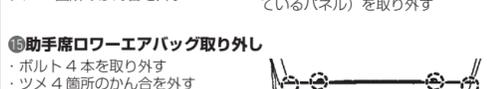
⑩エアコン吹き出し口R取り外し



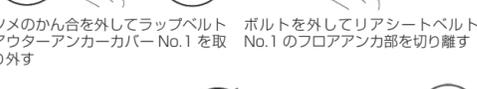
⑩エアコン吹き出し口L取り外し



⑩エアコン吹き出し口R取り外し



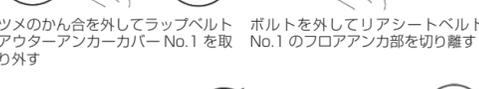
⑪助手席ローワーエアバッグ取り外し



⑪助手席ローワーエアバッグ取り外し



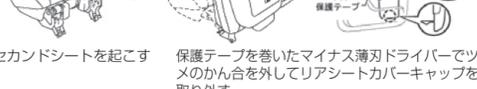
⑪助手席ローワーエアバッグ取り外し



⑪助手席ローワーエアバッグ取り外し



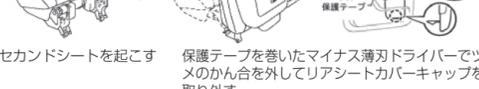
⑫インストルメントクラスタフィニッシュパネルガーニッシュ取り外し



⑫インストルメントクラスタフィニッシュパネルボックスドアノブ(2個)取り外し



⑫インストルメントクラスタフィニッシュパネルガーニッシュ取り外し



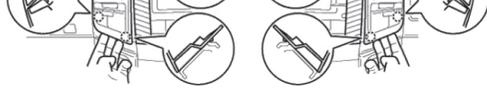
⑫インストルメントクラスタフィニッシュパネルボックスドアノブ(2個)取り外し



⑬グローブボックス取り外し



⑬10ピンコネクタへの取り付け



⑬グローブボックス取り外し



⑬10ピンコネクタへの取り付け



⑬10ピンコネクタへの取り付け



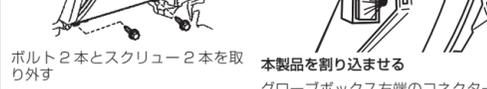
⑬10ピンコネクタへの取り付け



⑬10ピンコネクタへの取り付け



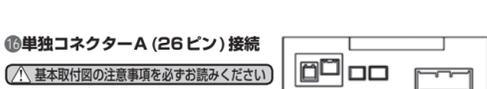
⑬10ピンコネクタへの取り付け



⑭26ピンコネクタへの取り付け



⑭26ピンコネクタへの取り付け



⑭26ピンコネクタへの取り付け



⑭26ピンコネクタへの取り付け

